

# 佐賀県高等学校 P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会  
佐賀市南佐賀3-11-15  
(佐賀県立佐賀東高等学校内)  
電話 0952(29)2573  
F A X 0952(26)5435  
印刷 大同印刷株式会社

## 新年のご挨拶



会長 森田 徹

新年明けましておめでとうございます。令和8年の始まりを迎え、皆さまのご健康とご家庭のご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年も佐賀県高等学校PTA連合会(高P連)は、子どもたちの健やかな成長と豊かな教育環境の実現に向けて、皆さまと共に歩んでまいります。近年、学校・家庭・地域を取り巻く環境は日々変化しており、それに伴ってさまざまな課題も生じています。これらを一つでも前向きに解決していくためには、目の前の対応だけでなく、少し先を見据えた中長期的な視点で取り組むことが大切だと感じています。

また、私たちが直面している課題のひとつに、保護者の参加が一部の方に偏ってしまう現状があります。働き方の多様化により時間のやりくりが難しく、「役員の負担が重い」「参加できる人が限られている」といった声も聞かれます。そこで各単Pにおいて、活動を細かく分担し、オンラインやSNSも活用しながら、誰もが気軽に関われる仕組みを整えていくことも必要ではないでしょうか。こうした工夫によって、PTAは「負担」ではなく、「自分の成長や交流につながる場」へと変わり、より多くの保護者が主体的に参加できる未来を期待したいと思います。



## 唐松地区

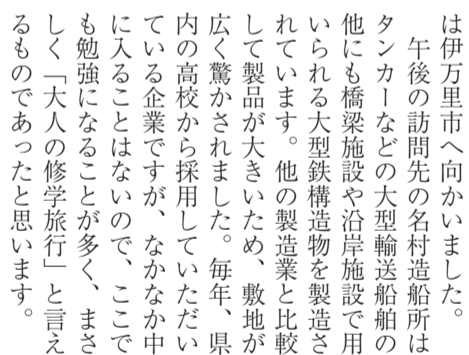
当番校 唐津商業高校

12月4日(木)、唐松地区PTA指導者研修会を、唐津市の唐津市文化体育館会議室にて開催しました。佐賀県高等学校PTA連合会会長森田徹様を来賓に迎え、52名の唐松地区のPTA等役員及び管理職、担当職員が参加されました。

## 鹿藤地区

当番校 鹿島高校

鹿藤地区PTA連絡協議会では、昨年度より「もつと新しい研修の形」を目指して始まった「大人の修学旅行」を今年度も引き続き11月20日に実施いたしました。



伊万里市の株式会社社名村造船所を訪ねました。当日は快晴に恵まれ午前中は修学旅行らしくバスに乗り込み、神埼町を目指しました。神埼キャンパスには健康栄養学科、スポーツ健康福祉学科、デジタル社会共創学環、社会福祉学科リハビリテーション学科があり、それぞれ施設の見学をしました。新しい設備が多く、普段目にするのではない令和の時代の大学の姿を見ることができました。高校卒業後の学びの場の例として、参加者のみなさんの参考になったと思います。



午後、訪問先の名村造船所は他にも橋梁施設や沿岸施設で用いられた大型鉄構造物を製造されています。他の製造業と比較して製品が大きいので、敷地が広く驚かされました。毎年、県内の高校から採用していただいている企業ですが、なかなか中に入ることはないので、ここでも勉強になることが多く、まさしく「大人の修学旅行」と言えるものであったと思います。

**お知らせ**  
来年度の佐高P連「会費」及び全国高P連賠償責任補償制度の「掛金」は今年度と同じです。  
○佐高P連事務担当者会議  
4月22日(水) 14時  
「グランデはがくれ」  
6月5日(金) 14時  
「グランデはがくれ」  
○九高P連大会「福岡大会」  
7月2日(木) 会議関係  
「福岡国際会議場」  
3日(金) 分科会・全体会等  
「福岡国際会議場」  
○全国高P連大会「大分大会」  
8月20日(木) 21日(金)  
「別府国際コンベンションセンター」ほか

佐賀県高等学校PTA連合会 中学生・高校生総合保障制度のお知らせ  
**中学生・高校生総合保障制度 (子ども総合保険 + 自転車総合保険)**  
お子さまの「ケガ」「トラブル被害」やご家族を含む「個人賠償責任」などを補償します。  
この制度の詳細はこちらからも確認いただけます。  
AIG損害保険株式会社「お子さまのための総合保障制度」<https://riskfinder.jp/school/>  
※保障制度の内容につきましては、取扱代理店へお問い合わせください。  
○制度に関するお問合せ先: 取扱代理店 株式会社コーリン(佐賀県高等学校PTA連合会保障制度事務局) TEL: 0120-228-553(通話料無料) [受付時間: 平日午前9時~午後5時 土日祝日年末年始を除く]  
○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 [令和8年度版: 90-019 (2026-11)]

**「おやじの弁当」**  
ある月刊誌に掲載された、国学院大学の故・樋口清之教授の随筆から、「おやじの弁当」のエピソードを紹介する。  
戦前、貧しいながらも勉学に励む若者がいた。彼の人生の原動力は「おやじの弁当」だとう。ある日、彼は間違えて父親の弁当を持って行ってしまった。肉休労働で汗を流す父親の弁当箱を開けると、ご飯は半分。おやじは味噌が少し載っているだけ。一方、自分の弁当はご飯がたっぷり、メザシが入っていた。父親の弁当の内容を一番よく知る両親は、このことについて一切言葉を交わさない。  
親が子どものために自分の食事を削る、その「静かな愛」を悟った瞬間、若者は胸がつまり、涙が溢れて弁当を食べられなかった。その涙が、両親の期待を裏切るまいという強い決意となり、ひたむきな勉学へと彼を突き動かしたという。  
今は「自分の価値を明確に言葉にし、発信する力」が不可欠とされる時代である。「自分の価値を能動的にアピールする力」が重視される中、「語らない」ことは、ともすればネガティブにとらえられがちだ。しかし、「語らない」ことが、いかに深く人の心を動かし、真の人間性を育むか。  
人に知られないように善行を積み重ねることを陰徳という。「おやじの弁当」の心は、私たちにとって、大切な教訓を教えてください。

佐賀県立三養基高等学校  
校長 牟田 秀哉

# 「本校のPTA活動紹介」

## 佐賀県立鹿島高等学校

佐賀県立鹿島高等学校は平成30年に旧鹿島高校と鹿島実業高校が再編統合されて開校された学校です。1学年普通科4クラス、2学年普通科4クラス、3学年普通科1クラスと商業科1クラスの大手門校舎で構成されています。校舎が近いので、学校行事や部活動の移動は徒歩で行っています。

本校PTAでは、5月の総会の他に文化祭での販売活動や地域清掃活動、広報紙の発行を行っています。

買ったレトルトパックのものを温めて販売しました。味が良いことに加え、安く提供したこともあり人気が高かったのですが、商品在庫がなくなったため、惜しまれつつも今年度が最後の提供となりました。

10月の環境美化ボランティアでは、保護者と生徒有志で学校周辺の通学路を中心にゴミ拾い、



草取りを行いました。当日は昼頃から雨の予報だったので、少し早めに活動を始めました。この日は、模擬試験や部活動の新人大会と日程が重なっていたため、生徒の参加は少なかったものの、中には親子で参加されているご家庭もありました。活動中に雨の子報がどんだん早まり、とうとう雷が鳴ったため残念ながらそこで中止となりましたが、学校周辺がきれいになりました。

シリーズ No.41

# 頑張ってるね!!

# 輝いてるね!!

敬徳高校は、1964（昭和39）年に設立され、今年で開校62周年を迎える学校です。浄土真宗のみ教を建学の精神として、「和顔愛語」の校訓のもと、礼節を身につけ、社会でたくましく生き抜く資質を鍛え、自立した社会人の育成をめざしています。

今年「他者とのコミュニケーション」というものを行いました。本校では、まず保護者さんにアン



## 「いじめの教育」に励む学校

### 敬徳高等学校

法話をいただくご縁です。当日は、学校開放の日とされており、保護者も法要にお参りすることが出来ます。主に生徒に向けたお話ですので、仏教でのもの見方、考え方を丁寧に伝えて下さっています。だからこそ保護者にも分かりやすく、新たな気づきを与えてもらえる有り難い時間だと思っています。

また、本校では「敬徳祭」が文化の部・体育の部と二日続けて実施されます。その文化の部で、後援会の恒例行事としてバザーを行っています。ジュースやクッキー、フィナンシェ、和菓子などを仕入れて、販売しています。例年、保護者からも生徒からも大変評判がよく、すぐに売り切れるものがあるくらいです。商品を受け渡しする際に生徒たちは、笑顔で「ありがとうございます」といいます。後援会として元気をもらい表情も明るくなり、「敬徳祭」を楽しむことが出来ています。

これからの本校後援会は、「こ

## 三神地区

### 当番校 神埼清明高校

令和7年10月31日、令和7年度三神地区連絡協議会指導者研修会を千代田公民館で実施しました。

動禅塾日本そうじ協会代表理事の今村先生に「そうじのススメ」と題してご講演いただきました。いろんな肩書を持たれている先生をどう紹介したらいいですか？と尋ねると、「掃除を通して教育に携わっている人とお話しします。」と言われ、

霧閉気が一変しました。ご本人が大学4年で脳梗塞を発症され克服された話。銀行員として活躍した後、不登校児教育に取り組んだ話。そこで気付いた「引きこもり生徒に共通することは部屋が汚いということ」から、まず環境を整えることと、

この「教育」に励んでいる敬徳高校のサポーターとして、生徒達により充実した学校生活を送れるように、そして私たち後援会のメンバー自身も学びを深められるように、様々な活動に積極的に参加し発信していきたいと考えています。

その後、鳥栖商業高校から全国大会「三重大会」の報告、神埼清明高校から九州大会「沖繩大会」の報告をしていただき、情報を共有することができました。



11月5日（水）令和7年度佐城地区研修会を「グラウンデがくれ」にて開催しました。

講演ではPTA活動延べ40年の実体験の中から「役員活動は最後でいい、子供一番、仕事二番で負担に感じず楽しいところを発信しよう」「挨拶自分からすることでも相手も返してくれる」「ありがとうの言葉の力」

## 杵西地区

### 当番校 敬徳高校

杵西地区連絡協議会指導者研修会は、令和7年10月17日、伊万里市のロイヤルチェスター伊万里にて開催されました。佐賀県高等学校PTA連合会会長森田 徹様を来賓に迎え、53名の杵西地区のPTA等役員及び管理職、担当職員の参加がありました。

講演の講師には、本校のスクールカウンセラーである、江崎 京子先生をお招きして、演題「青年期の悩みと人間関係」をテーマに講演をしていただきました。実際の相談内容として高校生のストレスは、人間関係や学習、進路に関するものが多数を占めることを示されました。そして、心と体は影響を与え合っているから、その両方にストレス反応は

「いじめの教育」に励む学校、大変有意義な時間を過ごすことができました。

「いじめの教育」に励む学校、大変有意義な時間を過ごすことができました。

